



小学校入学前児を対象に親子の交通教室（3月8日）

いつでも どこでも
安全な行動がとれる子ども
それには

日常でのお母さんの教えが第一

では、具体的にどんな教えをしたらいでしょうか。新学期を迎えて特にお母さんたちに心

登校時間に

余裕をもたせる

入学してまもない子どもたちは、新しい環境の中でいろいろなことに神経を使い疲れていきます。睡眠不足で朝寝坊をしないよう、夜は早目に寝かせ、朝は登校時間に余裕を持たせ、朝食もしつかり食べさせましょう。

翌日の準備は

寝る前に

夜、寝る前に翌日の準備をさせ、忘れ物がないか点検する習慣をふだんから身につけさせましょう。

登校前には叱らない

叱られると、子どもはそのことで頭がいっぱいになり、周囲の状況が目に入らなくなり、思いがけない事故のもとになりかねません。家を出る時には笑顔で「いってらっしゃい」とおくり出しましょう。

掛けていただきたい点をあげてみました。

通学路の確認を

子どもと一緒に通学路を歩き、交通ルールやマナーを勉強しましょう。指導する場合は、子どもの目の高さで見ると心掛けてください。

また、危い場所などは指導してあげましょう。

下校時に道草をさせない

一日の勉強の解放から、下校時について道草をしがちです。そんな時こそ事故が起こりやすいのです。学校が終わったらまっすぐ帰る習慣を身につけさせましょう。

ドライバーの思いやりで

子どもを事故から守りましょう

子どもを交通事故から守るには、ドライバーの皆さんの安全運転と、子どもへの思いやりも必要なことです。

ドライバーの皆さん、次の点に心掛け思いやり運転にご協力をお願いします。

○子どもの「とび出し」は突発

雨の日は、ドライバーの視界が悪くなり、暗い色の衣服では目立ちません。明るい色を選びましょう。

また、持ち物が多いと周囲への注意力が散慢になります。できるだけ少なくさせましょう。

帰宅後の遊びは時間を決めて

帰宅後遊びに行つてよい範囲や帰宅時間などを決めて、子どもにしつかり守らせましょう。

春の全国交通安全運動
四月六日～四月十五日まで

○発進、後退のとき車の回りに子どもがいらないか確認を……

○左折するときは、左側に自転車に乗った子どもや歩行者がいらないことを十分確かめて……